



2023年3月29日

加古川製造所が、電力 CO₂排出量のゼロ化を実現

ハリマ化成グループ株式会社

ハリマ化成グループ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長谷川吉弘、以下、当社）は、加古川製造所（兵庫県加古川市）にて、エネット社が提供する再エネ導入支援メニュー「EnneGreen®（エネグリーン）プラン」を4月より導入します。「エネグリーンプラン」は、電気に再エネ指定の非化石証書を組み合わせ、CO₂排出量をゼロとする仕組みです。

当社は、2021年に、日本政府が掲げる「2030年に温室効果ガス（GHG）を2013年度比46%削減する」目標に対し、「3年前倒して2027年に46%、2030年には50%削減する」方針を表明し、さらに2050年までにカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいます。

加古川製造所では、2005年稼働のバイオマス発電設備（最大出力4,000kW）と、本年3月から開始した、ため池水上太陽光発電事業により、再生可能エネルギーの使用比率は73%と高い水準にあります。この度「エネグリーンプラン」導入で、同製造所で使用するすべての電力は、再生可能エネルギー由来となります。

さらに、その他の国内工場では、特に電力使用量が多い茨城工場（茨城県稲敷郡）、東京工場（埼玉県草加市）、富士工場（静岡県富士市）にて、東京電力エナジーパートナー社が提供する「グリーンベーシックプラン」を2023年4月より導入し、購買電力の一部を再生可能エネルギーに切り替えます。「グリーンベーシックプラン」は、FIT非化石証書(※)および再エネ指定の非FIT非化石証書を組み合わせた、CO₂排出量ゼロのプランです。

(※) 非化石証書：

再生可能エネルギー由来の発電によるCO₂排出量ゼロの付加価値（環境価値）を証書化した電力プラン

今後も、これらの取り組みを継続しつつ、その他拠点にも展開させ、2050年までにグループ全体でカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。

■ 関連情報

<当社リリース>

- ・ 温室効果ガス排出量削減の前倒し達成について

https://www.harima.co.jp/news_release/2021/0616142720.html

- ・ ため池水上太陽光発電事業開始のお知らせ

https://www.harima.co.jp/news_release/2023/0220174344.html

<関連企業・ホームページ>

- ・ エネット社「エネグリーンプラン」

<https://www.ennet.co.jp/about/green.html>

- ・ 東京電力エナジーパートナー社「グリーンベーシックプラン」

https://www.tepco.co.jp/ep/renewable_energy/after-fit_corp.html

以上

本件に関するお問い合わせ先
ハリマ化成グループ株式会社 広報グループ
TEL : 06-6201-2477
URL : <https://www.harima.co.jp/inquiry.php>